

【言葉の説明】

用語集：令和 7 年度東京都サービス管理責任者等更新研修演習ノート抜粋

ここにテキストや演習で出てくる言葉の説明をしています。他にも分からない言葉があれば、ご自身で事前に調べるようにしてみましょう。

	言葉	意味
あ 行	意思決定支援	意思決定支援とは、自ら意思を決定することに困難を抱える障害者が、日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることができるように、可能な限り本人が自ら意志決定できるよう支援し、本人の意思の確認や意思及び選好を推定し、支援を尽くしても本人の意思及び選好の推定が困難な場合には、最後の手段として本人の最善の利益を検討のために事業者の職員が行う支援の行為及び仕組みをいう。 引用 厚生労働省 2017.3 厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉 障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン https://www.mhlw.go.jp/content/12602000/000307504.pdf 20250616 アクセス
	インクルーシブ社会	障害があってもなくても、一人の人間として、学校生活や地域社会での生活など、平等に機会が与えられる公平な社会
	エビデンス	根拠・裏付け
	OJT	On The Job Training の略。実際の業務を通じて学んでいく研修手法
	エンパワメント	個人や組織が本来持っている力を引き出し、主体的に考え行動できる状態をつくること。 福祉の文脈においては、社会的に不利な状況に置かれた人々の自己実現を目指しており、その人が持っているハンディキャップやマイナス面に着目して援助するのではなく、長所、力、強さに着目して援助すること。
か 行	客体	対象となるものや人のこと、対義語は「主体」
	協働	複数の職員がなんらかの目標を共有し、共に力を合わせて活動すること。
	協同的	同じ目的や大義名分のために一致協力すること。協力的、協調的とも同義。
	吟味	細かく調べる、深掘りする
	グループダイナミクス	個人では生まれない行動や心理的な変化が、集団になることで現れる人と人との相互作用。
	グループディスカッション	グループでの話し合い
	グループワーク	グループでの作業

	傾聴	言葉だけでなく、姿勢やまなざし・表情など言葉以外のメッセージも受けとめて、相手の話を聴くコミュニケーションの技法。一方的に相手の話を聴くことなく、聞き手と話し手の相互作用で、話し手が本当に伝えたいことが導き出される。相手との信頼関係を築くだけでなく、傾聴を通して自分自身を知り、感情のコントロール等精神的成長を促すきっかけにもなる。
	後見事務	成年後見制度における後見人による支援
	個人ワーク	個人で取り組むこと。
	個別支援会議	利用者に計画を説明するための会議
	個別支援計画原案	アセスメント結果をもとに利用者に対する支援内容を検討し作成する、個別支援計画のもとになるもの。
さ 行	サービス担当者会議	相談支援専門員などの関係者が出席する会議
	社会資源	対象者が活用可能な制度・サービス・機関・関わりのある人等
	心理的安全性	集団のなかで自分の意見や考えを安心して表明できる状態のこと。心理的安全性が高い組織は生産性やパフォーマンスの向上が期待できるとされる。
	自己覚知	簡単に言えば「自分を知ること」。 職業的な自分をコントロールするために、自分の依って立つ価値観について知っておくこと、自分の理解の範疇に置いておくことが必要。 内なる自分と対話し、自分自身を理解しようとしながらすすめていくのが「自己覚知」のプロセスだと言われる。
	重層的人的要素	人が及ぼす影響を、多様なレベル・複数の形態でとらえること。
	焦点	人々の注意や関心の集まる場所、物事のいちばん重要な点
	職業的態度	その職業に就く者として求められる態度。自分の価値観や人間観を知ったうえで、その職業に求められる倫理・態度・価値観などに統合する必要がある。自己を客観的に見つめて、「私的自己」を「職業的自己」にしていくことが求められる。
	事例検討会	事例（利用者）に対する支援方針や課題等について協議する会議
	スーパーバイザー（バイザー）	スーパービジョンを行う人
	スーパーバイジー（バイジー）	スーパービジョンを受ける人
	スーパーバイズ	事業所の管理者や施設の責任者・先輩職員から指導・教育をすること。
	スーパービジョン（SV）	スーパーバイザーがスーパーバイジーに対して専門職としての知識や技術への訓練を促進・支援するためにソーシャルワークの視点から実

		施される。スーパーバイジーを支えると共に、それを通して支援を必要とする人へのアプローチをより良いものにしていくこと。
	ストレングス	その人が持っている長所や強みのこと。 「ストレングスモデル」は、悪いところを良くする、できないことを改善するという発想ではなく、人がもともと持っている強みや長所を引き出し、伸ばしていこうとする手法。
	セッション	特定の活動のために用意された期間または会合のこと。
	相互性	相互関係があること、互いに働きかけ影響を及ぼすこと。
	相互意味性	複数の要素や主体がお互いに影響し合い、その意味や価値を共有する状態。例えば泣く・笑う・怒る・悲しむ、それらの表情を見ただけで理解し、自分も同じような感情を持ってしまう。
	相互志向性	互いの思考や行動を意識し、影響し合うような性質。例えば見る＝見られることは、相互に影響し合うので、主体であると同時に客体でもある。
	相互主体	他者との相互の関わりによって主体として存在すること。
	相互対話性	会話の中で、主体と客体が次々と入れ替わり、相互に影響し合い、反応し合って、キャッチボールとしての対話が成り立っていく。
た 行	端的	簡潔に
	対峙	二者または複数の者が互いに向かい合う、直面する状態
	代理代行決定	本人以外の代理的・代行的に意思決定すること。
	チームアプローチ	「多職種連携」とも言う。利用者に対しての目標を達成するために、多職種で協力しながら支援すること。
	同型性	お互いの身体が相互の動きに応じて同じ型で感応し合う
	閉ざされた質問	質問者が回答者にイエス・ノーのように具体的な回答が行えるような質問方法、開かれた質問等回答しにくい場合に活用される。
な 行	ニーズ	障害のある方が自らの望む生活を営むことができるように、利用者本人や家族が援助してほしいと望んでいるもの、支援者が援助することが必要ととらえているもの。
は 行	パターナリズム (パタナリズム)	個人の自由や意思を制限して、その人の利益や福祉を守るために介入すること。支援者が先回りして本人の代わりに代行してしまう、やってあげてしまう。
	評価的態度	規範を優先した、批判的・否定的・比較する対応のこと。「よい」「だめな」という表現がなされることが多い。
	開かれた質問	例 「どのように感じますか」のように回答者が自由な発言を引き出す質問方法。
	プロセス	過程
	方略	特定の目的を達成するための計画や戦略のこと。

ま 行	モニタリング	一定期間ごとに計画の評価を行い、計画の再作成を行う。
ら 行	リフレーミング	物事への受け止め方、解釈、意味づけを変えること。マイナスの印象をプラスにリフレーミングすることにより、エンパワメントに繋がる。
	レスパイト	介護者が一時的な休息を取る、クライアント本人が休息を取るために、活用する場合もある。
	ロールプレイ	役割演技法とも呼ばれ、特定の状況を想定し、参加者がそれぞれの役割を演じること。